

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当部課		部課コード	120200	2998-9172		
事業コード	120203	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業				道路建設課		
開始年度	平成 25 年度	終了年度	平成 年度	グループ	用地グループ・工務グループ			
事業の概要	事業の種類	土地利用	土木建設	建築	補助	単独	単年度	
	根拠法令	道路法、所沢市道路の構造の技術的基準を定める条例、土地収用法						
	分野別計画・指針							
	関連・類似事業	入間市マスタープラン(都市計画道路網の延伸計画)、道路改良事業、道路舗装事業						
	総合計画の体系	章	街づくり	節	道路	基本方針	生活道路の整備を進めます	
	事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	平成14年度に本市で道路拡幅要望が提出された路線の一部に、入間市のマスタープランによる都市計画道路の延伸計画に重複する箇所があったため、これらの道路整備について入間市と協議を重ねた結果、国道、県道や駅を結ぶ地域の補助幹線の役割を担う歩道を備えた道路を整備することで大きな事業効果が見込まれることから、所沢市と入間市の共同による「新設道路整備計画」を策定し、平成16年度以降、住民説明会や測量等を開始した。						
事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)							
	国道463号バイパス「上藤沢南交差点」から県道所沢・青梅線までの区間の新設道路整備(総延長2654m、うち所沢市分1645m)を実施する。補助幹線の役割を担う道路の整備により生活環境や交通の利便性の向上及び武蔵藤沢駅までのアクセスを容易にするほか、バリアフリーの歩道整備により高齢者や身体障害者など交通弱者の移動の負担を軽減する等、地域の活性化と安心・安全のまちづくりを目的とする。							
	事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応							
	平成22年度に入間市との協議により、当初の計画幅員14.5mを12.5mに変更した。							
事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	1,900,000		事業の進捗率	平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要			
	事業費累計(平成27年度まで)	122,849		6%	第一工区として国道463号バイパスより浅間山通りまでの740m区間(所沢市分460m・入間市分280m)の整備を先行して進め、早期の部分開通を目指す。 平成28年度 用地買収 平成29年度 新設工事 平成30年度 新設工事			
	平成28年度実施計画における事業費	平成28年度	118,140					13%
		平成29年度	100,000					18%
		平成30年度	100,000					23%
現時点での総事業費予定額	1,900,000		平成 年度終了予定					
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
	予算現額			0	130,067	118,143		
	決算(見込み含む)			0	121,850	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)			(人)
	正規職員人件費	1.60人		13,954	1.75人			15,155
	事業費合計			13,954	137,005			
	財源内訳	一般財源			13,954	130,366	111,543	
		国・県支出金			0	6,639	6,600	
その他()								
成果	項目名	項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	第一工区整備実施率	目標値:第一工区整備予定延長 実績:第一工区整備済延長 将来目標:全工区整備予定延長	m	目標値 460	460	460	1,645
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	****	****	どちらかをチェックしてください
	成果指標設定理由・目標値の考え方	平成27年度から用地買収に入り、成果指標については整備の実施率とした。このため平成27年度は用地買収のみのため整備率は0となっている。第一工区の当市整備予定延長460mを当面の目標値とし、将来目標は全工区における当市の整備延長とした。						
評価	事業計画見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり		理由及び今後の方向性				
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		本事業については、国道463号バイパスと県道所沢青梅線を結ぶことで、三ヶ島・北野方面の渋滞緩和が期待できる路線であり、林・糞谷地域並びに入間市の宮寺地区の生活環境が向上し、地域の活性化につながることから、事業の見直しについては必要ないと考える。				
	総事業費見直し	<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり (<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了)		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし				
評価理由	上記評価の理由							
評価日	H28.8.1		評価者職氏名	道路建設課長 加藤 孝雄				
環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化の防止		4-1大気汚染の防止		有害な環境影響を及ぼす原因活動		道路整備工事の実施
		5-2安心な都市空間の整備						規制を受ける環境法令等 緊急事態
								無
								無